

現場の管理と改善シリーズ セミナー

原価引下げ(開発・生産・使用・廃棄)のための実践セミナー!

低減効果の高いものから取り組む!

原価低減で利益向上

「利益との関係など基本的事項の理解」「原価低減の基本的手法」
事例や演習を多数取り入れ、原価低減対策を解説します。

原価とは、製品やサービスを生産・提供するためにかかるコストですが、製造業や卸・小売業では売上高の約 8 割を占めます。

この大きなコストに潜むムダを見つけ、そして取り除くことによって、同じ売上高であったとしても利益を大きくすることができます。

そもそも利益の向上の方向性は、「売上高の向上」と「原価低減」の 2 つの道があります。しかし、売上高についてはお客様の意思が入ることから自社でコントロールすることはできません。

そこで企業にとって原価低減は、自社の努力で進めることができ、また利益への影響度も大きいことから、利益向上のための重要な課題となります。

本セミナーは、開発・購買・生産・物流など企業活動の全体を対象として、原価低減の切り口と取り組み方法を解説します。その知識を用いて、自社の原価低減効果の高いテーマを選択し、高い効果を実現していただきたいと思います。



■開催日 2017 年 10 月 13 日(金) 10:00 ~ 17:00 [6 時間]

■講 師 (一社)東海経営支援センター 副理事長 梅村 彰 (中小企業診断士)

[プロフィール] 1981 年(株)リクルート入社。経理、経営管理、人事等を中心に営業・プロモーション等の職域の管理職。1996 年ゲーム・携帯情報端末用ソフトウェア開発会社に U ターン転職(常務取締役)。

2008 年独立。2015 年(一社)東海経営支援センター 副理事長。

介護をはじめとするサービス業、製造業の収益性向上、企業再生等の業務の他、椋山女学園大学の非常勤講師。

著書『サービス経営 理論と応用』(三恵社)『現場の管理と改善講座「作業標準」(共著)』(日刊工業新聞社)他

■会 場 四日市市文化会館 2 階 第 3 会議室

〒510-0075 三重県四日市市安島二丁目 5-3 (近鉄四日市駅 下車、徒歩 約 10 分)

※「現場の管理と改善シリーズ セミナー 申込書」の、“会場のご案内”を参照ください。

■受講料 15,000 円/1 人(テキスト代含む、消費税別)

■申込み 別添の、「現場の管理と改善シリーズ セミナー申込書」に必要事項をご記載のうえ、ファックスにて、ご送信ください。(FAX No. 059-245-7524)

主催：一般財団法人 三重県環境保全事業団

共催：標準化研究学会

1 原価の基礎知識

- (1) 原価とは（総原価とは）
- (2) 損益計算書の概要と原価低減による利益への影響（演習）

2 原価管理

- (1) 原価管理とは（原価企画・原価低減・原価統制）
- (2) ライフサイクルコストの考え方（開発・設計、生産、使用、リユース・リサイクル・廃棄）
- (3) 損益分岐点の考え方（演習）

3 原価低減 準備段階ですること

- (1) Plan-Do-Check-Act (PDCA) サイクルによるマネジメント
- (2) 原価低減の推進方法（組織体制）
- (3) 現状把握と現状分析（現状分析の手法）
- (4) Activity-based Costing (ABC) 分析の手法
- (5) 目標の設定とブレイクダウン
 - 1) 商品開発時の原価低減策
 - 2) Value Engineering とその進め方
 - 3) 生産プロセスの「ムダ取り」の視点
 - 4) 「目標」の設定の仕方
 - 5) 目標のブレイクダウン
 - ・工程改善の視点 ECRS ・他工程持ち ・他工程持ち ・多能工化 ・設備総合稼働率他

4 原価低減 実施段階ですること

- (1) 原価低減の当面对策と根元絶ち
- (2) 原価低減の改善案の収集、選択、実践（アイデア発想法、改善提案方式）
- (3) アクションプラン(行動計画)と進捗管理
- (4) 原価計算と差異分析

5 物流費の原価低減

6 購買部門の原価低減

7 自社の原価低減への適用方法の検討

* 本日の講座を振り返り、自社の原価低減への取り組みについて検討し、意見交換をしていただきます。